

帯広病院 21-4111
柳町医院 30-3111
白樺医院 38-3500
帯広歯科医院 21-8020
ケアセンター白樺 41-1165

友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 藤田 敏明

URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>

E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

患者さん・友の会とともに「選ばれる病院」を目指して

十勝勤労者医療協会の外来看護部門では、接遇改善や待ち時間の縮小などに取り組み、患者さんから「選ばれる病院」を目指して実践を開始しています。

患者さんから何が求められるのか

この取り組みを開始した動機は、ある外来患者さんとのトラブルから。その患者さんは待ち時間にしびれを切らし、「もう帰る。二度とこない！」と憤慨、看護師の謝罪の言葉も聞き入れず、帰ってしまいました。この一件は外来スタッフに大きなショックを与えた。

「患者さんに待ってもらうという意識が、慢性化していたのでは。あらためて患者さんに来て良かったと感じてもらいために、どのような患者サービスが求められるのかを明確にしていきたい」と、外来看護スタッフは

担当看護師名を各部署に表示して

帯広病院では以前から、診察室の入り口横に、その診察室の医師名を表示していました。七月からは看護師名も表示しています。

また、診察室だけでなく外来カウンター、健診コーナー、予約カウンター、処置室と、看護師が関わる全部署で担当者名を表示しました。その結果、「外来スタッフが以前より生き生き仕事をしている」と、重村早苗外来看護主任は言います。「担当者名を明らかにすることで、みな心地よい緊張感の中で仕事をしています。患者さんの接遇には当然気を使います。診察室の裏の通路には、八か条かなる正しい言葉使い心得を掲示しました。自然に頭に入っています」。

外来の看護師カウンターでも担当名を表示



今後さらに帯広病院職員全員が顔写真入りで紹介された掲示物も、随時張り出されていきます。

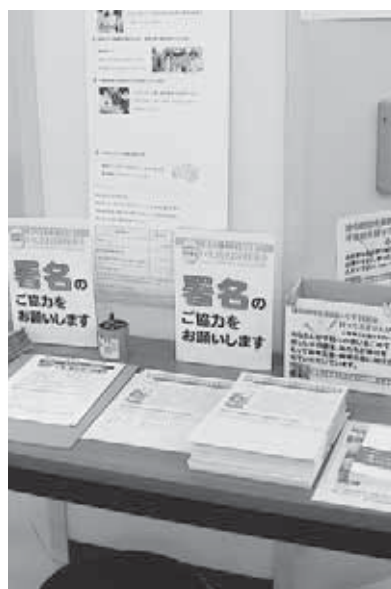
患者さんの待ち時間を減らすために

患者さんの待ち時間をいかにして減らすか、どうすれば発生する待ち時間を長く感じないようにできるか検討し、待合室に、待ち時間の表示を開始しました。

患者さん・友の会の意見を参考に

外来待合室にも工夫がされました。待ち時間に利用してもらうための書籍コーナーを一新しました。また署名コーナーも、友の会入会コーナーも、待合室の片隅から中央に移動しました。

書籍については帯広病院利用委員会、以前から意見が出されていた課題でした。書籍コーナーの改善を提案していた同委員会の高城恵子さん



一新された署名・友の会コーナー

アンケート調査で看護師の実践を検証

今後、外来看護部門では、期間を決めて外来患者さんにアンケート調査を実施していきます。患者さんの目で看護スタッフの「病院づくり」の実践を検証することが目的です。今回の取組みについて渡辺景子外来看護師長は、「外来看護師の意識をここまで大きく変えたのは、やはり患者さんからの率直なご意見。患者さんの声を真正面から受け止め、患者さんの目線でスタッフ全員が意識するようにしました。病院に入ってから会計を済ませて玄関を出るまで、『この病院にかかってよかった』と感じていただけたよう改善をすすめていきたい」と、決意を語ってくれました。

(本部・谷口和弥)

聴診器

本号でかきやすい外来づくりの取り組みが紹介されると聞き、ノンフィクション作家・柳田邦男氏の講演を思い出した。柳田氏は言う。闘病とは学ぶこと。病気になった時、まず自分の病気や治療を知ること▼インフォームド

ある。重要な治療をする時、治療法だけでなく、病気の種類・性質・今後の進行、治療の副作用や合併症、危険性など説明を受け、よく理解し納得して同意するもの。しかし、一回説明されただけではよく判らない。そんな時に一番役に立つのは患者会が出している本。迷ったときには他の医療機関に相談する方法もある▼患者の心得として名前とカルテの確認はとても大事。尋ねたいこと、心配なことはメモにしておく。判らないことは確認する。大事なことはメモにとる。そして医療にも限界があることを知ること。医療は神術ではない。仮に治らなくても、残された時間をどう生きるを考えると▼患者会に所属すると生き方を探しやすい。ホスピスのボランティアをしてみると心が落ちつくという。生きられた時間を大切にしたい。医療者側にも患者の権利を大切に実践を期待したい。(清)

「転倒予防」で 教室開催

在宅介護支援センター白樺

在宅介護支援センター白樺では帯広市からの委託事業として「介護予防教室」を、年三回開催しています。その第一回目の教室が、七月二十一日にしらかば寿老人会の例会に併せて開催されました。



介護予防教室会場となった寿会館の様子

テーマは「転倒予防」、ケアセンター白樺の佐藤志織作業療法士の説明に、三十名の参加者の皆さんは傾きながら興味深く聞き入っておられました。



原爆ドームをバックに（左から角張、大道、佐藤、阿部）



盆踊り会場で（半場、川瀬さん、浅沼、谷口）

米海兵隊は 本国へ帰れ

今年で四十回目となる矢白別平和盆踊りが八月七日、全国から千百人が参加し、別海町の川瀬二さんの牧場で行われました。十勝勤医協からも浅沼双枝ケアセンター白樺看護師長、半場敏江ほつとらいん白樺看護師ら三人が参加し、「アメリカ海兵隊は本国に帰れ」の唱和や、盆踊りによる交流をしてみました。



集会で壇上に上がった川瀬さんは、「多くの仲間

に苦しんでいたたり、原爆症と認められず訴訟を起こしている方達に何ができるか考えさせられた」

動物園で夏の一日を満喫 ひまわり会が日帰り旅行会

昨年に続き今年も七月二十四日に帯広動物園でひまわりの会（リウマチ患者会）の日帰り旅行会が開催されました。三〇度を超す猛暑のなか、患者さんも職員も暑い夏の日を満喫しました。

明、大きな拍手に包まれました。

核兵器の 廃絶に道筋を

八月四日から広島市で開催された原水爆禁止世

界大会に、民医連十勝支部から代表四人が参加しました。

代表の四人は、「太平洋戦争の加害国でもあり、

憲法九条を守れ！ 原水爆禁止世界大会・矢白別平和盆踊り大会

核兵器の唯一の被害国でもある日本人だからこそ、世界平和に役立ちたい」（阿部浩文薬剤師・あじさい薬局）、「被爆した人たちの話を聞いて、核兵器の恐ろしさや被害を受けた人達の苦しみ・悲しみが痛いほど心に突き刺さった」（佐藤美由紀理学療法士・ケアセンター白樺）、「今でも後遺症

民医連のケアマネージャーとは 研修会で職員25人が学ぶ

「民医連のケアマネージャーはどうあるべき

か」、十勝勤医協ケアマネージャー部会の第一回研修会が、七月十五日ケアセンター白樺で開催され、各院所・施設から二十五人が参加しました。



「全日本民医連スーパーバイザー養成講座」の研修会。講師は佐藤氏。参加者はケアマネージャーの研修生たち。

ケアセンター白樺 流しソーメン&野外焼き肉バイキング

七月十五日、ケアセンター白樺三階療養棟内で、夏の風物詩「流しソーメン」を行いました。竹は職員の知人より九州から送って頂いた物と借りた物を使用し、事前リハーサルも行い準備しました。当日は大きな声で飛び交う中で、流れてくるソーメンを箸や素手でつかむなど、普段とは違う利用者さんを見るのができました。



また、八月十一日には二階療養棟で、ケアセンター白樺の庭先で「野外焼き肉バイキング」を行いました。青空の下、炭で焼いた肉をほおばり、「ビールでカンパシ」と盛り上がり、用意した材料は全てなくなりました。「美味しかったよ！楽しかったよ！」などの声が沢山聞かれ、どちらも大盛況にて終わりました。（白樺療養棟看護士・小林恵津子）

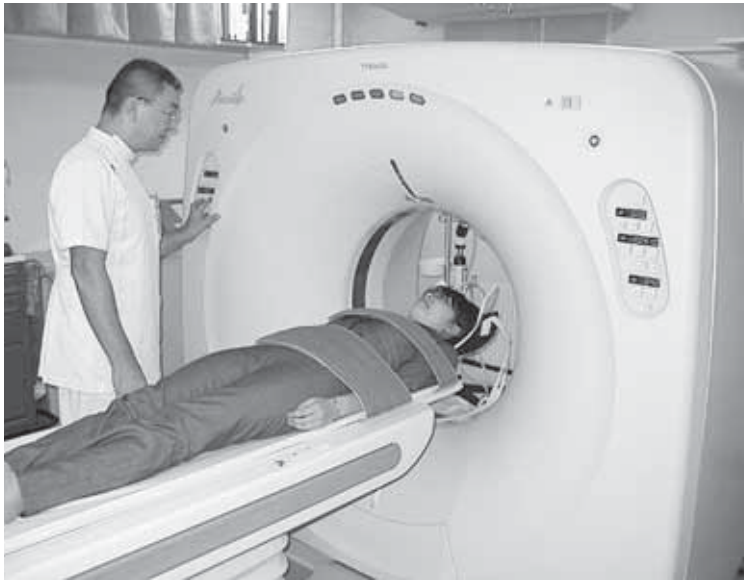
9月健康相談会開催予定

日程	曜日	開始時間	テーマ	開催会場
3日	金	18:00	調理教室	西帯広コミセン
6日	月	14:00	青空健康チェック	札内はらっぱパークゴルフ場
6日	月	19:00	生活習慣病	広尾町丸山老人寿の家
10日	金	15:00	スーパー前健康チェック	札内ダイイチ前
27日	月	19:00	納豆とニンニク	片桐武夫宅(音更町宝来仲町)
28日	火	19:00	エックス線でわかる病気	光南福祉センター
29日	水	19:00	喘息について	帯広病院大会議室

※友の会員なら、どの健康相談会にも参加することができます。日程や場所が変更になる場合もありますので、友の会連絡会事務局まで（21-4144）ご確認ください。

十勝健康チャレンジ挑戦中のみなさんへ

目標に向けて元気にチャレンジは継続されていますか？さて八月末日でチャレンジを終了します。皆さんにお渡しした記録表はお手数でもFAXか郵送で友の会事務局までお届けください。最後までがんばりましょう。



CT写真の撮影風景

CT (コンピューター断層撮影) について

帯広病院放射線科主任技師 松田裕樹

柳町医院にCTを設置

八月より帯広病院のCTが更新され、また柳町医院にも新たにCTが入りました。

今まで柳町医院から帯広病院や白樺医院へわざわざ検査に行っていた。聞いていましたが、これからはそのような煩わしさは少なくなると思います。

が特徴で、同じような検査には超音波検査や磁気を使うMRI検査などがあります。それぞれ得手不得手があり、CTは義歯や手術により金属が入ったところなどは見づら

輪切りの写真を撮影

CTはもう聞き慣れた言葉になっていくかもしれませんが、コンピュター断層撮影のことで、X線を使って輪切りの写真を撮影します。

また、色々な角度から写真を撮り直すことも出来るので、より病気のわかりやすい写真を作ったり、立体画像を作ること

も出来ます。

CTは痛みのある場所や気になるところを切らずに見ることが出来るのが特徴で、同じような検査には超音波検査や磁気を使うMRI検査などがあります。それぞれ得手不得手があり、CTは義歯や手術により金属が入ったところなどは見づらくなりますが、全身どこでも検査出来ます。

CTでわかる病気は

CTでわかる病気として、全身の腫瘍や肺炎・脳出血・脳梗塞・動脈瘤・胆石・尿管結石・脂肪肝・腸閉塞など書き出したらきりがない程たくさん病気がわかります。

そんな放射線ですが、実は、病院にだけあるのではなく、日常的に太陽や宇宙から降り注いでいます。また、地球自体も放射線を出しています。

然の放射線量と比べて極端に多くはありません。決して検査によって得られる情報や安心感より危険が上回ることはないと思いますので、安心して新しいCTで検査をしてください。

資料もありますのでレ

病院の検査で使用する放射線の量は、それら自

資料もありますのでレ
ントゲン受付へ気軽に声
をかけてください。

歯のおはなし
その41
乳歯編①

歯はどうやってつくられるの？

十勝勤医協帯広歯科医院 歯科衛生士 山田 春江

乳歯の場合、お母さん
できます。

がまだ妊娠に気づかない
七週目くらいに歯胚（歯
の芽）がつくられ始めま
す。妊娠四〜五ヶ月で歯
の石灰化（カルシウムな
どのミネラルの沈着）が
始まり、徐々に歯の形が



て、この時期に良質なタンパク質やカルシウム、リン、ビタミンA、B、Cなどを摂るように心がけたいものです。

七月の末、施設のレクレーションが行われ、僕は介助の補佐役でBさん（七十歳女性）と一緒に帯広動物園を見学することとなりました。

しかしなぜか、初めからBさんの表情がすぐれられません。僕は遅まきながらBさんの視力のこと、に気がつき、周囲の情景や動物の様子を言葉で伝えようとしました。しかしBさんは「そう。それが見えたら本当にいいんだけど。」と、ますます表情は曇るばかりです。

何と言つてあげればよいのかわからないまま、手近なテントで一休みすることにしました。テントの中央には、小動物用の小さな檻があり、数人の子供が賑やかに周囲を取り囲んでいます。飼育員さんからウサギやハムスターを手渡されているのでした。

しばらくすると「鳴き声がするけど何かいるの？」と、Bさんが口を開きました。僕が周囲の

さんが聞き止めてくれて、Bさんの膝の上にウサギを一羽連れてきてくれました。

それからBさんは
まだら毛のウサギを抱っ
こしたまま、すっかり笑
顔になり、以後は楽しく
過ごしていただくことが
できたようです。

走

ソーシャルワークの 動物園での学び

ソ
ー
シ
ャ
ル
ワ
ー
ク
は
主
に
社
会
、
生
活
の
課
題
と
背
景
を
探
る
こ
と
で
展
開
し
て
い
き
ま
す
。し
か
し
利
用
者
さ
ん
の
そ
の
時
々
の
感
情
や
、
切
実
に
求
め
て
い
る
こ
と
に
向
き
合
う
の
も
ま
た
、
重
要
な
こ
と
で
あ
る
と
感
じ
ま
し
た
。

たった一日の体験でしたが、ケアの現場でなければ得られない学びを、少しでもらうことができたように思います。

（ケアセンタ―白樺介護支援専門員・宮田哲郎）

東奔西走 ソーシャルワーカー奮闘記 ①⑥

動物園での学び

田村 修先生からメッセージが届く

個人の生き方を尊重した心の通うケアを

我が国における高齢者
われています。

人口（六五歳以上）は約二三〇〇万人（高齢化率十八・五％）。この比率は、二〇一五年には三七七万人（同上二六・〇％）にまで増加すると言

否応なしに押し寄せる高齢化社会の中、誰でも等しく歳をとりますが、背負っている人生は一人一人違います。

個人の生き方を尊重

個人の生き方を尊重し、ケアを受ける方・ケアをする方の両者にとつて望ましいケア、心の通うケアについて、一緒に考えてみたいと思います。

第15回十勝健康まつり(9月12日開催)

記念講演は「高齢者のメンタルケア」

田村 修先生が講演

(道勤医協丘珠病院 精神・神経科科長)

講演時間 午前11時10分～同11時50分



田村 修先生

